



スキー協通信

No.446

発行

2022. 6. 1

東京都勤労者スキー協議会

〒114-0014 東京都北区田端1-24-22山柿ビル3F 03-5842-1932

ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org

ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004 (東京都勤労者スキー協議会)
00140-5-659281 (東京スキー協スキーメイト係)

発行責任者

出崎福男

2022 全国山スキー交流「鳥海山」



名残惜しいゲレンデ、
来シーズンの再会を約束して…



かぐらスプリングフリーレッスン



東京スキー協 第55回定期総会

3年ぶりに会場に集まり、開催します

2022年6月19日

北区立滝野川西区民センター

滝野川西ふれあい館第1ホール

目次

リレーエッセイ「雪紋」／平日スペシャルレッスン報告	2頁
かぐらスプリングフリーレッスン報告	3頁
公認資格者「合格を祝う会」報告	4頁
全国スキー協 山スキー部会より	5頁
会議の報告／6・7月のカレンダー	6頁

半世紀の進化

東京スキー協 常任理事 齋藤 敏晴

リレーエッセイ

雪紋

今年1月、北海道富良野スキー場へクラブの仲間達と行ってきました、久々のパウダースノーを満喫です。スキー客も例年の半分以下だと係員も嘆いていました、思い起こせばスキーを始めたころ、大きなゲレンデはフラノが最初だった。それが約50年前、その50年来の旭川の友人とのメールでの交換。

友) —その当時リフトは一人乗りで寒かったナー、30分40分待ちは当たり前だった 私) —今は一人乗りリフトは皆無、4人乗りで屋根(フード)付きでしかも高速だよ、フラノは100人超乗りのロープウェイもあって数分で頂上だ 友) —ほう、それ乗ってみたい、そう言えば板が外れてゲレンデの下まで行っちゃったことがあったナー(笑) 私) —今、外れたら勝

手に止まるよ、しかも今の板は自分の身長よりかなり短くて軽いので扱いやすい 友) —その板ほらなんて言うだっけ 私) —カービング? 友) —そう、それぞれ(笑) その板勝手に曲がってくれるんだろ 私) —んなわけないだろ(笑)

それにしても器具や設備などずいぶん発展したものだ、ウインタースポーツ愛好家にとってはコロナもそうだが地球温暖化が気になるころ、そして何より平和であること…、危うい今の日本だが…。

友と北海道のスキー場で会う約束をしてメールを終えた、ちなみに今シーズンの自分の目標は少し高いが指導員試験に挑戦することです。

平日スペシャルレッスン 2022/4/12-13

4月12-13日、かぐらスキー場にて、吉岡大輔さん、中村浩章さんをコーチに迎えて、「平日スペシャルレッスン」を行いました。参加者は13人です。

春のグサグサ雪に対応した滑りということで、身体の傾きをなるべく使わず膝・腰・肩のラインを斜度に合わせて、腰、足元からターンをコントロールする、というテーマでした。やわらかい雪でもしっかりとラインを描くことができます。多くの参加者が共通して、「ターン後半からエッジの角を外し、前に進む部分をつくって。エッジからエッジにならないように」とのアドバイスを受けていました。雪がやわらかくスキーの操作が難しいこともあってか、スキー協では御法度?ですが「少し立ち上がるくらいでいい」とのことでした。おふたりのコーチの息の合った掛け合いも楽しいレッスンでした。

中村コーチのご家族の事情により行事としては1日のみとし、2日目は吉岡コーチのもとで参加を希望した8人でレッスンを行いました。この日は、身体の傾きを使ってターンをコントロールする、ということで、前日とは運動のしかたが違います。ターン前半は内傾角をとって、後半は外手を下げていき外脚にしっかりとりのり、流れるように重心を移動していきます。「エッジからエッジにならないように」は昨日と同じです。

両日でアプローチの違う滑りを通して、意識して滑りを使い分けることを学びました。

(競技スキー委員会 長谷川かよ子)



かぐらスプリングフリーレッスン 2022/5/7-8 -----

5月のかぐらの行事、コロナ禍で2年連続中止を余儀なくされていましたが、3年ぶりに実行できました！今回は2日間通し参加10名+日帰りが土日各1名でした。コーチは吉岡大輔さん。ポールは使用しない行事です。

今年は2日間ともお天気に恵まれ、暑過ぎにもならず、恐れていたゲレンデや駐車場・ロープウェイの超混み！もなく、快適に過ごせました。外スキーに体重を乗せて春の悪雪・不整地の中でも安定して滑って行けるよう、いろいろなバリエーションを使って練習できました。5月という季節柄、昼頃からゲレンデのほとんどが不整地に…。コブに入る前段として、横滑り、ずらし、上体と下半身のひねりなどを整地で練習。エッジを外して自然な回転を始めることのできるポジションの横滑りを…。谷側の板の上に山側の肩を乗せていく感じ、って表現だったかな(^_^) 身体の向き、姿勢、そして感触…あらためて横滑りの大事さ、これがターン中の動きにつながることを実感。

3～5年前からのリピーター(?)参加者から「以前にも増してコーチのアドバイスが具体的でわかりやすくなった」と笑顔が出ていました。いろんなバリエーションの中には難しいものもあったけど、吉岡さんの明るさで、楽しく練習できちゃいました。

一人一人の滑りの良いところをまずほめて、その上で修正点の指摘を行っていたのが印象に残りました。「指導員応用研修」としてこういう点も学び、活かしていきたいものです。ビデオは、吉岡さんが撮影しながら音声にコメントを入れてくださいました。ビデオは当日視聴した他、データで参加者に配付し、帰宅後にも見られるようにしました。

宿泊は、お馴染みになった田代のロッジサンモリッツ！親切で食事も美味しい。いつでも入れる気持ちのよい温泉でお肌もツルツル(^_^)疲れが取れて最高！まだ感染拡大防止に努めなければならず、交流会などができなかったことはちょっと残念でした。

(競技スキー委員会 末広明美)



5月14日(土)午後、スキー協事務所において、感染対策を実施(マスク、手洗い消毒、ソーシャルディスタンス、換気、大声を出さない)して、2020-2022年に、スキー協の公認資格に認定された方、6名(1名欠席)の方の、「合格を祝う会」を3年振りに開催することができました。

東京スキー協の会長、副会長・技術部長、理事長、副理事長・教育技術局長、所属する各クラブの代表者とそのお仲間等もお祝いと今後の激励に駆けつけていただきました。自己紹介、抱負、今後の決意、ご苦労されたこと等を述べていただき、ゲストのみなさま方からもお祝いと今後の励ましをいただき、静かながら、和やかに進行し、無事終了することができました。軽食の差し入れもいただき、みなさまのご協力に感謝いたします。



理事・教育技術局 間間 至 (チーム・スポーツ板橋)

認定を受けた方々(合格者)

初級指導員…シュプール：池田ひろこさん(2021年合格)、荻原洋一さん(2022年合格)

雪けむり：北原信芳さん、片野康二さん(ともに2022年合格)

山スキーリーダー…こなゆき：大津 武さん(山スキーリーダー)2020年合格

中級指導員…豊島S C：長谷川かよ子さん(2020年合格) お仕事で欠席

資格にチャレンジ、その取り組み、今後の抱負----- 片野 康二(雪けむり)

ある程度滑れると自負していたので、指導員受験をクラブ員から勧められ、気軽に受験しました。しかし内容は想像を超えるもので、レポート、筆記試験は想定外で、実技も考えていたものと違っていました。合格後に感じたのが、単に滑れるというだけではなく生徒さんに見て解りやすい滑りをしなければならないと気付きました。今まで楽しんで滑っていたのが、見せるスキーにしなければならないと、癖のある滑りを直すのに大変な時間を費やしました。この努力で合格時には最低の見せるスキーに届いた気がします。しかし指導員のヒヨコみたいで来シーズンは「指導員」が恥ずかしいくらいです。後期高齢者として、楽しく、安全に、華麗に、スピード感のある指導を生徒の人達と共に楽しみたいと思います。



多くを学び、教え上手な指導者に ----- 荻原 洋一(シュプール)

3月5-6日に戸狩スキー場で実施された神奈川県スキー協主催の初級指導員検定を受験し、無事合格することができました。試験当日は前日の春めいた晴天ベタ雪がうそのように、一日中ドカ雪で視界が悪い中での実技試験となりました。整地バーンではそれなりに練習をしてきましたが、深雪と圧雪が入り混じった斜面では思うように行かない場面もありました。それでも何とか大きなボロを出さずにすみ、最後の指導法実技もポイントをうまく説明できたので合格点を得ることができました。これからはより多く学ぶ機会を増やし、教え上手な指導者になるべく研鑽を積んでいきたいと思ひます。



山スキー部会 Presents

～ウィンタースポーツからみた気候危機を考える～

7/16 (sat) 13:00～15:00

Zoom 開催決定!

考えよう

雪・滑り・地球

POW JAPAN 事務局長

講師 せいとりゅう たけひこ
脊戸柳 武彦 氏

POW Japan

2007年、プロスノーボーダーの JEREMY JONES は、私たちにとって大切なフィールドである雪山に、気候変動は大きなインパクトを与えているのにもかかわらず、そこに対するアクションがほとんど生まれていないことを痛感し、仲間たちと共に Protect Our Winters (POW) を立ち上げました。



日時	2022年7月16日(土) 13時から15時 講演 13:00～ 質疑応答 14:30～
開催方法	Zoom ※参加にはメール、インターネット、PC、スマートホンなどが必要です
申し込み	メールアドレスは必ず記入してください
連絡先	kyoduka@wj8so-net.ne.jp
注意事項	申し込み、お問い合わせはメールにて受付いたします。

主催：全国勤労者スキー協議会 山スキー部

～ ウィンタースポーツ からみた気候危機を考える～ 参加申込書

氏名 _____ 団体名 _____

住所 〒 _____

TEL _____

メールアドレス _____

参加費無料 定員50名

会議の報告

第54期 第4回理事会 2022.5.19 (木)

◆第4回理事会 (Zoom会議 出席者 18/30人)

<主な内容>

1. 総会に向けた主な日程の提案と確認

- ① 6月9日総会代議員登録締切
- ② 6月16日第55期役員立候補締切
- ③ 6月19日第55回定期総会

会場：北区 滝野川西区民センター

2. 総会議案の報告と論議から

理事から出席者全体への下記質問に関し、発言がなかったため総会で交流できるよう準備することとした。①ジュニアの行事参加者が、行事中にコロナ感染症を発症したときの対応をどう考えているか？②クラブ同士の交流行事について、他クラブからの行事参加者の参加費を割増ししているか？③スノーボード指導員が東京スキー協にいない中での、行事開催をどう考えているか？

6・7月のカレンダー

6月	行事名	7月	行事名
2(木)	常任理事会	7月下旬に第55期第2回理事会を予定。 日程は総会後の第1回理事会で決定	
12(日)	全国スキー協代表者会議		
18(土)	第26回東京反核平和マラソン (スポーツ連盟東京都連盟)		
19(日)	東京スキー協第55回定期総会 第1回理事会	7/25(月)	通信発行/総務局会議

編集後記 エビノシッポ

今シーズンは仕事の都合もあり滑走日数が少ないシーズンでした。(雪は十分にあったのに…!) 少ない時間でいかに効率よくうまくなるかは常に課題ですが、シーズン終わりに近づき意外にも気づきの多いシーズンだったかもしれない、とふり返っています。来シーズンそれを形にできるか？ また挑戦です。(h.k)

▼2022/4/12-13「平日スペシャルレッスン」に13人が参加。



▲2022/5/3-4 全国山スキー交流「鳥海山」は、全国から51名が結集。東京スキー協からは6クラブ13名が参加した。